

別子の同志のために 争議基金を募れ!!

總同盟を愛し總同盟のために闘ふ、一般組合員諸君! 別子の同志が日本の資本家、住友を相手
に争議を起してから既に一ヶ月になる。

諸君!! 住友は御存じの金持である、従つて一ヶ月や二ヶ月、一年や二年、争議をやつたつて何
等、差支ねるところがない、重役は平素の如く、美女を求めて自動車で宗右衛門町へ通ふことも出
來るだらうし、又その奥様は、寶石入の指輪を買ふために電話で、天賞堂の番頭を呼出すことも出
來るかも知れぬ、然しお互、労働者の方はさうはいかぬ、争議を始めた當日から米代に困る、お加
す代に困る。

殊に諸君!! 今度の争議には多くの犠牲者が出た、先づ十二月九日、會社の御用團體、改善會の
會員五百名が、喜光地の組合本部を襲撃した際、それを防いだ件に依つて、山内鐵吉、高梨二夫、
鈴木悦二郎君外五名が角野署へ、又一月元旦、御影の住友男爵本邸へ暴れ込んだ件に依つて、三木
豊、安藝盛、村尾重雄、本田繁夫、小林廣吉の五君が御影署に、而してまた同じく、住吉の重役小
倉邸宅で器物を破壊したと云ふ件に依つて、大矢省三君が今宮署に、それ〴〵揚げられた、それ
についても金だ、金が要る、金の心配をしながら別子の同志は戦はなくてはならぬ。

所で諸君!! 資本家は利口だ、同志が金に困つてると云ふことをよく知つてゐる、従つてその厭
は飽迄強い……………。

諸君!! 別子から、わざ〴〵上阪した従業員の代表が、本社に重役を訪れても、未だ面會せぬ、
而してその一方、何と云ふ狂暴!! 公傷で療養中の同志七十四名を、年の瀬も迫つた十二月二十

六日、突然一片の紙切によつて蹴つた、それもこれも要するに、金のない事を見透してゐるからだ
諸君!! だから吾々は、何を於いても先ず、敵の目算を狂はすために、充分なる争議基金を別子
の同志に送らねばならぬ、而してよく知らね、よく戦つて來た別子の同志を救けなくてはならぬ。

諸君!! 同じ總同盟に屬し、同じ階級戦に立つもの、義務として、
募れ! 争議基金を募れ!!

寒が落ちる、木枯しが吹く、寒い、冬の日には寒い、然し乍ら諸君、別子のみは、殊に寒いのだ!

大正十五年二月五日

日本労働 總同盟 大阪聯合會

取扱者 長田孝之

中川重吉